

くずまき 議会だより



新たな事業に着手
25年度予算76億円

2p

25年度予算を検証

4p

一般質問 ～3議員が町政を問う～

6p

インタビュー 町立葛巻病院理事

10p

笑顔のつどい



今月の表紙

創立30周年を迎える
葛巻サッカー
スポーツ少年団
(関連10P)

一般会計予算概要

収	項目		予算額	対前年比	支	項目		予算額	対前年比
	自主財源	町税	4億7163万円	△0.2%		人件費	8億589万円	△10.3%	
	分担金等	7655万円	2.8%	扶助費	3億9903万円	5.6%			
	その他	2億9374万円	86.0%	公債費	7億5760万円	△6.1%			
入	依存財源	地方交付税	30億1000万円	0.0%	建設事業費	5億7856万円	10.6%		
		国・県支出金	7億4679万円	19.7%	物件費	8億3061万円	12.2%		
		町債	3億8910万円	10.1%	負担金等	16億7872万円	19.3%		
		その他	1億1271万円	0.0%	積立金	5010万円	△0.3%		
	合計	51億51万円	6.2%	合計	51億51万円	6.2%			

(1万円未満は四捨五入)

25年度予算総額 76億2369万円

町内全区間のバス運賃 片道100円に



消防防火衣を着て、にこにこ顔の小屋瀬保育園児ら

【主な新規事業】

- 葛巻病院新築に向けた基本設計の策定
- 江刈簡易水道の更新工事、設計業務の一部着手
- 消防団の防火衣、婦人消防協力隊のはんてん等を購入
- 自治公民館に太陽光発電設備、入浴施設等を整備
- 公道に接続する私道の整備費用へ助成
- 一般住宅のトイレの水洗化、改築経費へ助成
- 商店等の設備・機器の更新経費へ助成
- 粗飼料生産等の作業効率化体制の構築に向けた調査検討
- 小学校複式学級に学力向上支援員を配置
- 認定こども園等に幼児教育アドバイザーを配置

【主な拡充事業】

- 町内区間におけるバス利用料金を、一律片道100円
- 15歳以下の子どもを対象に医療費の所得制限を廃止し、完全無料化
- 自殺予防対策として支援員を配置
- 町内全牧草地の除染を実施
- 資源ごみの収集日を増加

特別会計予算概要

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	10億5182万円	△0.7%
簡易水道事業	2億9483万円	76.2%
農業集落排水事業	1億8767万円	1.1%
後期高齢者医療事業	6726万円	0.9%
国民健康保険病院事業	9億2160万円	0.0%
合計	25億2318万円	5.1%

5つの特別会計の当初予算総額は、25億2318万円で前年度に比べて1億2333万円、5.1%増加しました。主な新規事業は、葛巻病院設計業務と江刈簡易水道の更新工事、設計業務です。

特別会計

各会計の予算額は、次表のとおりです。

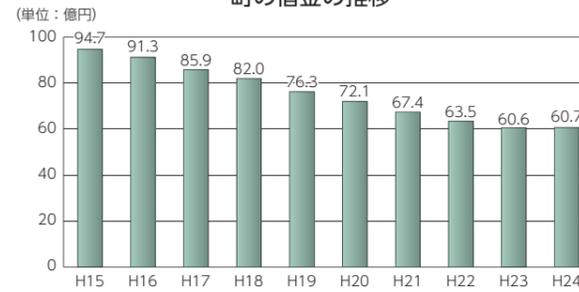
新たな事業に着手

葛巻病院の設計 江刈簡水の更新

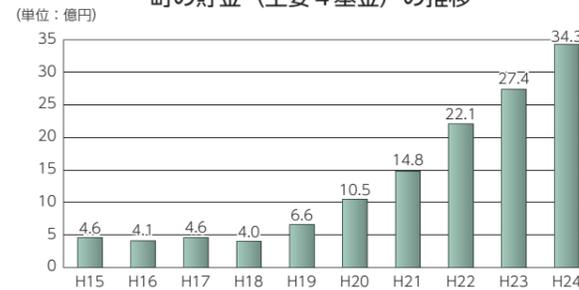
安全・安心な町水道で、しっかり手洗いする葛巻保育園児ら



町の借金の推移



町の貯金（主要4基金）の推移



3月定例会は6日から18日まで、13日間の会期で開かれました。初日は、鈴木町長の施政方針演説が行われ、新たな事業である「葛巻病院新築に向けての基本設計業務」「江刈簡易水道更新の一部着手」や新年度予算概要などについて、所信を述べました。続いて、千葉教育委員長が、就学前教育や学校教育の充実、「生涯学習の町」宣言から20年の節目を迎え、学びの心を培う環境づくりの推進を掲げた教育行政方針演説を行いました。

本定例会には、平成25年度一般会計のほか5特別会計など23議案が提案され、輝くふるさと常任委員会の審査を経て、すべての議案が「賛成全員」で、原案どおり可決されました。

平成25年度の一般会計当初予算は、51億51万円で前年度に比べて2億9575万円、6.2%増加しました。

項目ごとの予算概要と新規事業や拡充された主な事業は、3ページのとおりでです。

また、町の借金（一般会計の町債）は、24年度末の見込額で6億7136万円で、災害の発生により、前年度に比較し、8722万円、0.1%増加しました。町民一人当たり（24年度末人口・7120人）では、約85万円になります。

一方、貯金（主要4基金・財政調整・町債減債・地域づくり振興・公共施設等整備）の24年度末の見込額は、34億2869万円で前年度に比べ、6億9269万円、25.3%増加。町民一人当たり約48万円となります。

町の借金と貯金の推移は、上表のとおりです。

一般会計

バス運賃を100円に 総務 企画

問 バス運賃が軽減されるが、利用の仕方は。
答 江刈線と田部線は、降りる際に100円を支払うこととなります。

また、白樺号と県北バスは、申請書用紙に、乗ったバス停と降りたバス停の証明として、運転手からハンコをもらい、住民会計課の窓口へ提出すれば、差額を現金で支給します。



100円バスの運行により、利用者の増加が期待される路線バス（葛巻駅前）

未利用公共施設解体へ 総務 企画

問 公共施設の解体撤去工事の箇所は。

答 解体を予定している施設は、次のとおりです。

- 旧土谷川分校の校舎、体育館、教員住宅
- 旧小田小学校の教員住宅、プール
- 旧小田保育園の園舎
- 旧毛頭沢分校の校舎、物置等
- 旧冬部小学校のプール
- 田子の教員住宅4棟
- 旧田野小学校のプール
- 江刈中学校のプール
- 旧給食センター
- 旧役場（郷土資料館）

水洗化には上乗せ助成 総務 企画

問 一般住宅のトイレの水洗化と改築への助成内容は。
答 補助率は15%で、上限は15万円です。

ただし、水洗化が含まれる場合は、さらに10%上乗せし、25万円が上限となります。

私道の整備助成対象に 総務 企画

問 私道整備助成金の内容は。
答 私道を利用する住宅が3戸以上あり、延長が20m以上、幅が1.8m以上確保できる道の舗装や側溝等を整備する場合には、補助率は2分の1で、100万円を上限に助成するものです。

自殺の予防対策を強化 健康 福祉

問 地域安心生活支援員の人数と資格、活動内容などは。
答 体育振興会の地域ごとに1人ずつ、計6人を配置する予定です。資格は特に定めていませんが、知識経験者で地域の実情に詳しく、相談業務に対応できる方を想定しています。支援員は、専任で週に3日程度、訪問や面談などを行い、見守り体制の

音声告知を屋内で放送 総務 企画

問 FM音声告知端末設置業務の内容は。
答 光ファイバーに接続したラジオのような装置により、屋外告知放送と同じ内容が放送されるも

賛成討論

(要約)

辰柳敬一 議員

充実を図るもので、健康福祉課や社会福祉協議会、民生委員などと連携を取りながら、心配ごとに速やかに対応します。

資源ごみの収集日増加 農林 環境

問 資源ごみの収集日を増やす予定は。
答 田部と小屋瀬方面、星野から江刈川地区を、月1回から2回に増やします。

江刈簡水の工事計画は 建設 水道

問 江刈簡水道の年度別の工事計画は。
答 次のとおりです。

年度	工事延長	予定地区
25	3,410m	野中、橋場
26	8,870m	荒沢口～栗山
27	9,600m	江刈小屋瀬～日渡
28	10,810m	荒沢口～畑
29	11,450m	山岸～辰鼻
30	12,760m	泉田～寺田、鳩岡住宅

特別会計

地域に出て健康づくり 葛巻 病院

問 新病院建設に向けて、体制などの強化策は。
答 看護職員については、県立病院に勤務した総婦長経験者の派遣により、体制強化を図ります。また、新年度から常勤医師5人の体制が整うことから、医師と保健師が地域に向いて、健康教室などを通じながら、保健、医療、福祉の一体的な推進を図ります。

幼児や児童教育を充実 教育 委員会

問 幼児教育アドバイザーと学力向上支援員の内容と配置先は。
答 幼児教育アドバイザーは、週に1回程度、保育士の指導力向上を図るための助言などを行います。また、学力向上支援員

25年度一般会計当初予算案は、予算規模において前年を約3億円、6.2%上回る51億円となっています。内容は、町長が安心して暮らせる町づくりに向けた新たな取り組みが分野にわたっています。また、町民が抱える課題や不安を取り除くための新規事業が、数多く盛り込まれています。中でも、町内の路線バスの運賃を100円とするほか、快適な住まいづくり応援事業、私道整備助成金、FM音声告知端末の設置。さらには、15歳以下すべての子どもの医療費の無料化や孤立・自殺予防のための見守りを強化す

る地域安心生活支援員の配置。葛巻病院の医師と町の保健師・栄養士が連携して実施する高齢者等健康教室の開催など、事業は住民生活に直結したもので、高く評価します。次に、特別会計では、水道会計において、江刈簡水水道統合整備事業費が予算化されたほか、病院会計においては、新病院建設のための基本設計費が計上されるなど、町民の関心が高い事業が本格的に動き出します。町長が提唱する住み続けたい町、誇りを持てる町となるよう、力強く前進することを大いに期待し賛成討論とします。

反対討論 なし



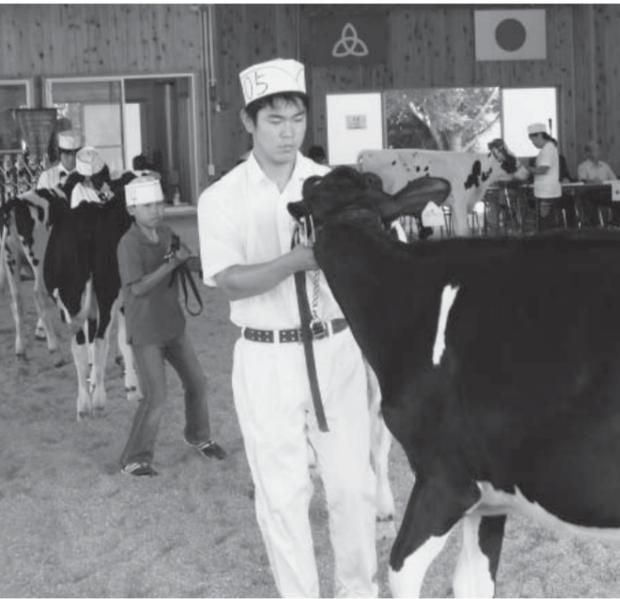
たつやなぎ けいいち
辰柳 敬一 議員

問 どうする今後の酪農

答 TMR、コントラクターで
低コスト経営を推進

議員 乳牛導入120周年の節目を迎え、今後の酪農振興策は。

町長 効率的な酪農経営環境を地域ぐるみで構築できるよう新年度は、今後の酪農のあり方について検討する考えです。また、低コストな酪農を進めるため、TMRセンター（粗飼料と濃厚飼料等を混合・調整し、供給する施設）やコントラクター（農作業受託組織）などの組織化に向けた取り組みを進めます。



乳牛導入120周年を記念して開催された葛巻町ホルスタイン共進会（土谷川）

町長 木材市況の低迷から、長伐期施業とする森林施業計画を策定。カラマツ60年、アカマツ70年、スギ80年を超えるまで伐採しない計画です。平成30年以降に計画的な伐採と再造林を行う予定で、現在は立木の販売は行っていません。

議員 町有林の立木の販売や山林の手入れなどの計画は。

問 町有林の立木
手入の計画は
答 計画的伐採と
再造林を予定

けてもらえるような施策で、人口流失を抑制していく考えです。

また、「ミルクとワインとクリーンエネルギーの町」のイメージを内外に発信し、新規起業や企業誘致など、雇用の確保に取り組んでいきます。

問 屋外告知放送
難聴の対策は
答 施設拡充工事
仕組みを整備

議員 屋外告知放送、特に火災時の合成音声聞き取りにくいのが、改善策は。

町長 情報通信基盤施設の拡充工事に合わせ、職員の肉声で放送できるように改善を進めています。同時に、火災などの場所を「地割」から「地区名」に改めます。

また、くずまきテレビでのテロップ放送、エリアメールや消防団員への一斉メールの送信、ホームページへの登録などが一度に操作できる仕組みを整備しています。

このほか、希望する世帯に屋内告知端末（光ファイバーに接続し、屋外告知放送と同様に聞こえる機器）を設置します。

問 小中学校の教育環境の充実方策は

答 学校・家庭・地域の連携と
知・徳・体の学校運営に

議員 本町の年間出生数は、30人前後の現状です。この少子化の影響で、町内五つの小学校と三つの中学校は、さらに小規模化の傾向にあり、今後が心配されます。

小中学校が置かれている現状と、今後の教育環境の充実方策は。

町長 現在、町内の小学校児童総数は242人、中学校生徒総数は154人です。29年度は小学生が203人、中学生は117人に減少すると予想されます。

今年度の複式学級は、葛巻小学校を除く四つの小学校にあり、中学校にはありません。

児童生徒の学力は、昨年10月に実施した学習定着度調査で、小学校4、5年生は県平均を少し下回り、中学校1、2年生では、国語、数学、社会、理科で県平均を少し上回



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

たものの、英語は下回っています。

中学校のクラブ活動では、生徒数の減少や部員数の偏りから、単独チームでの参加が困難であったり、入りたいクラブがなかったりなどの問題点があります。

学校整備計画は、今年度の補正予算で、小屋瀬と吉ヶ沢小学校、江刈中学校で、校舎耐震診断を



部員3人のため、町外中学校との合同チームを編成する葛巻中野球部（写真は、昨年の対江刈中学校戦）

実施。老朽化している江刈小学校は、27年度に設計を行う予定です。

児童生徒数は、ゆるやかな減少が予想されます。今後も現在の体制を維持しながら、小規模・複式教育の充実を図り、学校・家庭・地域の連携のもと、知徳・体の調和の取れた学校運営を進めます。

問 今後3年間の
財政見通しは
答 国保は年々
厳しい状況へ

議員 国保会計と一般会計の向こう3年間の財政見通しは。

町長 国保会計の支出は、保険給付費が23年度実績で7%（5千万円）程度伸びており、今後もこの傾向は続くと思われ

ます。

一方、国保会計の収入は、国保税が2億2千万円程度で、収入に占める割合は約20%、収納率は77%になっています。

被保険者数の減少や高齢者と低所得者の増加により、収入額が年々減少する厳しい状況です。

また、一般会計の予算規模は、25年度が51億円、26年度は48億7千万円、27年度は48億6千万円を見込んでいます。

定例会・臨時会で決まったこと

会計名	補正額	補正後予算額
一般会計	6億1381万円	66億4563万円
国民健康保険事業	1061万円	11億1126万円
簡易水道事業	166万円	1億7420万円
農業集落排水事業	398万円	2億651万円
後期高齢者医療事業	141万円	7194万円
病院事業	△3534万円	8億8607万円

24年度補正予算
各会計の補正額などは、左表のとおりです。一般会計の主な支出は、公共施設等整備基金に2億円を積み立て、総額は18億9211万円。地域づくり振興基金に1億87万円を積み立て、総額は5億383万円となります。

条例等改正
町営住宅の整備基準の追加や、道路構造の一般的な基準などを定める条例が制定され、4月1日から施行します。そのほかの新設条例や改正は、次のとおりです。

●**新型インフルエンザ等対策本部条例**
新型インフルエンザ等の発生により、国が「緊急事態宣言」を行った場合に、町でも対策本部を設置して、速やかに対応するものです。

●**道路占用料条例改正**
地価の下落に伴い、町道などの占用料を10%の率で引き下げます。対象は電柱や電線、ポストなどで、太陽光発電と風力発電設備が追加され、4月1日から施行します。

●**盛岡北部地区障害程度区分認定審査会共同設置規約改正**
「障害者自立支援法」「障害者総合支援法」が改正され、25年4月1日から施行されます。また、障害程度の区分が、障害に応じて必要とされる度合いなどを示す

問 農業担い手の意向調査と補助事業の考えは

答 農家の意向を踏まえ町などの支援事業で対応



やまぎし み 山岸はる美 議員

議員 TPP（環太平洋連携協定）参加による影響が不安視される中、高齢化の進展や後継者不足が大きな課題である本町の酪農業について、アンケート調査実施の考えは。

町長 国では、平成23年10月に「我が国の食と農林漁業の再生のための基本行動計画」が策定され、地域農業マスタープラン（人・農地プラン）を作成することになりました。

このプランは、今後地域の中心となる担い手の安定確保や、農地集積を促す仕組みを構築するもので、昨年7、8月にアンケート調査を実施しており、対象農家は856戸、回答率は53%でした。また、施設整備は、国

交付金事業の「草地畜産基盤整備事業」、県単独事業の「いわて未来農業確立総合支援事業」と町単独の「葛巻型農業構築支援事業」などを実施しています。

事業内容は、生産管理用機械や粗飼料生産機械の導入、草地の造成や改良、低コスト牛舎や堆肥舎等の整備です。

今後とも、農家の意向や要望を踏まえ、生産性と農家所得の向上を図っていく考えです。

問 地域力の低下町の支援策は

答 活動交付金の充実で対応

議員 自治会で受託している道路や堤防の草刈り作業などが、「会員の高齢化により、年々できなくなりつつある」という意見が多くあります。



真山親水公園の清掃を行う小田部落会員ら

このことから、自治会の収入も確保しつつ、多様な形態での支援策の考えは。

町長 町から自治会への委託事業は、町道や川の除草作業であり、景観保全や環境美化につながる、大切なコミュニティ活動です。この委託料が、自治会の活動費の一助になっていることから、今後も自治会に委託する考えです。

一方、世帯数が減ったり、高齢者世帯が作業に参加できないなど、参加者の負担が大きくなるのではと、自治会関係者から心配する声も聞かれます。

このことから、新年度予算で各自治会の高齢者世帯の状況を基準として、「自治会活動交付金」に、総額で200万円を上乗せして交付します。用途は制限を設けず、飲食物の購入費や、作業量軽減のため、作業の一部を自治会員に請け負ってもらう経費など、自治会ごとに工夫、活用できるように考えています。

トピックス

通年会期制など研修

平庭地域市町村議会議員連絡協議会の研修会が2月6日、久慈市・葛巻町・九戸村の議会議員ら51人が参加して、九戸村公民館で開催されました。

研修会では、新潟県立大学准教授の田口一博氏が「自治法改正と議会の対応」と題して講演。議会の会期を1年間とする“通年会期制”などについて、理解を深めました。

請負契約

●**グリーンページ太陽光発電設備工事**

太陽光発電設備と蓄電

（株）盛岡市・東野建設工業

「障害支援区分」に、26年4月から改められます。この改正にあわせて、規約の一部を変更します。

池を整備し、災害などの際に宿泊者や避難者が使用する必要最低限の電力を確保するものです。

◇契約額 7844万円
◇工期 25年11月29日
◇契約相手

インタビュー

町立葛巻病院理事

ささき たかし
佐々木 崇 さん (66歳)



生き生き健康づくりを目指して

Q. 自己PRをどうぞ。

4月1日から葛巻病院の理事としてお世話になっていきます。昨年3月まで岩手県立中央病院に勤務し、退職までの6年間は病院長を勤めていました。趣味は、魚釣りが大好きで、川や海釣りどちらも楽しんでいきます。早速、馬淵川や安家川でチャレンジしたいと思っています。そのほか、昆虫の蝶が好きで、葛巻町にどんな種類の蝶がいるのか探してみたいです。

Q. 葛巻町の印象は。

自然豊かなすばらしい環境のほか、ミルクやワインの産業を中心にがんばっている、元気な

Q. 葛巻病院での役割は。

病気になるないためにどのよう予防すればいいのか、皆さんの不安を少しでも解消するための、相談相手になればと思います。

Q. 町民へのメッセージを。

葛巻町民として、仲間に入れてください。機会があれば、多くの皆さんとお話したいです。また、健康であることが一番大切です。皆さんが元気で生き生きと健康でいられるよう、少しでも手助けとなつて、葛巻町と一緒に生活できればと思います。

姿に惚れています。

また、新しい事業にも積極的に取り組んでいるため、さらに葛巻町の明るい話題を全国へ発信してほしいです。

今月の表紙



大船渡三陸フットボールクラブ春季交流会が3月30日と31日に、大船渡市の北里大学三陸キャンパスグラウンドで開催されました。

交流会には、大船渡市や陸前高田市のスポーツ少年団をはじめ、本町の葛巻サッカースポーツ少年団や内陸部のチームが多数参加して、小雪がちらつく天候にもかかわらず、熱戦を繰り広げました。

【表紙:交流会に向けた練習前の集合写真】

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

1月	45,000円	(消防ポンプ積載車 配備祝賀会ほか)
2月	6,000円	(町安全協議会懇談 会ほか)
3月	37,000円	(自衛隊入隊予定者 激励会ほか)

広報発行常任委員
姉 帯 春 治

編集後記

テレビで3月定例会をご覧いただいた方、いかがでしたか。新年度の主な事業は、新規26件、拡充8件などで、賛成全員ですべての議案が可決されました。特に新規事業では、バス運賃を片道100円に軽減。葛巻病院の基本設計や江刈簡易水道整備事業に着手します。町民の皆様も、農作業など忙しくお過ごしのことと思います。が、くれぐれも、事故のないよう気をつけましょう。

